

令和3年度
(2021年度)

総合教育部の取り組み

<部長の方針・考え方>

- 教育大綱、教育振興基本計画に基づく取り組みの実現
- 教育委員会と市長部局の連携による施策の充実
- 誰一人取り残さないSDGsの目標を踏まえた取り組みの推進

<部の構成>

教育政策課
新しい学校推進室
おいしい給食課
中央図書館

<主な担当事務>

- (1)教育に関する事務の点検・評価等、教育施策の総合調整に関すること。
- (2)社会教育に関する調査研究、企画立案に関すること。
- (3)通学路の安全に係る企画、立案及び対策に関すること。
- (4)学校規模等適正化の推進に関すること。
- (5)学校給食に関すること。
- (6)図書館サービスに係る企画・運営に関すること。

具体的な取り組み：新しい学校づくりの推進

将来の児童・生徒数を見据え、教育環境の維持・向上のため策定した「枚方市学校規模等適正化基本方針」及び「枚方市学校規模等適正化実施プラン」に基づき、令和4年4月の高陵小学校と中宮北小学校の統合に向けて取り組みを進めます。令和3年4月には「枚方市新しい学校づくり協議会」を設置し、統合による新しい学校づくりにかかる諸課題への対応を円滑に進めます。新しい学校づくりにあたっては、これからの枚方市における学校づくりの指針となる「枚方市のめざす学校像」を作成し、それを踏まえ、新たな教育の推進モデルとなる「高陵・中宮北小学校の統合による新しい学校づくり」を作成します。ICT活用や新しい生活様式に対応した教育環境の充実・児童の安全対策、国際理解、英語教育、外国籍や障害、LGBT、感染症などの人権課題などに対応した枚方市における新しい学校づくりをめざします。また、統合に伴う中宮北小学校の跡地活用については、令和3年度に検討を行い、その考え方をまとめます。

具体的な取り組み：学校における新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策

子どもたちの安全・安心を守るため、国の補助金や交付金も活用しながら新型コロナウイルス感染症対策を講じます。

児童生徒への感染防止の徹底のため、保健室等の衛生環境の向上に必要な次亜塩素酸水生成器、サーマルカメラ、二酸化炭素濃度測定器などの備品や消毒液などの購入予算を学校へ配当します。

学校給食における感染症対策については、給食当番を行う児童生徒の毎日の体調チェック・記録を行うとともに、「手洗い」「飛沫感染防止のため会話を控える」「机を向かい合わせにしない」などの感染防止対策の徹底に努めます。調理場においては、調理員の手洗い・消毒や飛沫感染防止はもとより、接触感染防止などの感染症対策を徹底します。

具体的な取り組み：学校水泳授業の民間施設の活用

児童の泳力向上、水泳授業における教員への支援と指導の充実及び老朽化する学校プールの維持管理、改修費用の縮減を目的に、民間施設を活用した学校水泳授業を開始します。

令和3年度については、小学校1校において民間委託により水泳授業を試行実施し、効果や課題について検証を行います。検証に基づいて令和4年度以降の取り組みについては、民間施設の活用、公設民営施設の新設、屋外プールの改修など、今後の学校プールのあり方について検討を行い、老朽度等に着目した実施校の選定や民間事業者の状況などを見極めながら、取り組み計画を作成します。

具体的な取り組み：中学校の全員給食に向けた取り組み

中学校の給食は、魅力の向上や利便性の向上、情報発信の充実をめざして取り組むとともに、令和3年度は、全員給食の事業手法の再精査など課題となっている財源確保の検討を行います。また、生徒や保護者等へのアンケート調査の結果を踏まえ、申込み時にご飯の量を選択できるようなシステムを改修するとともに、子どもたちが食べたくなるような給食の検討や小学校の栄養教諭と中学校の栄養教諭の連携を進め、「中学校でも給食」といった児童への意識醸成を図るなど、実現に向けた取り組みを進めます。

具体的な取り組み：児童生徒の通学路の安全対策

通学路の安全確保のため、「枚方市通学路交通安全プログラム」に基づいて、警察や道路管理者と連携して定期的な合同点検の実施、実施後の効果測定など、継続的な取り組みを進めます。

また、通学距離や安全面からバス通学が必要と認められる児童生徒の保護者に対して、バス通学に関する費用を補助するなど、安全な通学環境の確保に取り組んでいます。児童生徒のバス利用状況をモニタリングしながら当該路線の増便などについてバス会社と協議を行うなど、引き続き、安全な通学環境を確保していきます。

さらに、児童生徒の登下校における安全・安心を高める観点から、令和2年度より民間事業者が提供する広域見守りサービスを一部校区へ導入しており、令和3年度は加入率向上の取り組みを進めるとともに効果検証を行ったうえで、全校区への拡大をめざします。

具体的な取り組み：図書館施策（電子図書館・学校図書館支援事業など）について

ICTの進展及びコロナ禍における新しい生活様式にも対応した図書館サービスとして、令和3年7月を目処に電子書籍の貸し出しを開始し、市民が自宅や出先から24時間いつでも電子書籍を活用できるよう、利便性の向上を図ります。

児童生徒の読書習慣の確立や情報活用能力の育成をめざし、全19中学校に加え、小学校12校に配置（2校兼務）された学校司書と連携しながら、学校図書館機能の向上及び充実を図ります。

さらに、学校図書館システムの管理・技術的支援等を行うとともに「学校教育支援用団体貸出」など図書の貸出により学校図書館への支援に取り組みます。

令和3年度は、枚方市立図書館第4次グランドビジョン等を踏まえ、第4次枚方市子ども読書活動推進計画の策定を行います。

枚方市駅前「図書館」については、駅近のメリットを生かすとともに民間施設や他の公共施設とつながりを持たせ、子どもや高齢者、子育て世代などにも利用しやすいスポットとしていきます。

具体的な取り組み：教育委員会の活動の見える化

子どもたちを取り巻く環境の変化に応じた教育施策を推進するため、市長と教育長、教育委員とで構成する「総合教育会議」も活用しながら、市と教育委員会の連携を深めるとともに、教育委員会と学校の情報共有を密にし、より一体的に施策の充実を図ります。

そのうえで、地域や保護者との更なる連携を図るため、学校の取り組みや子どもの状況等について、ICTを効果的に活用しながら積極的に情報を発信し、教育委員会の活動の見える化を進めます。

具体的な取り組み：社会教育の推進

SDGsの目標「質の高い教育をみんなに」をはじめ、「すべての人々に健康的な生活を確保」や「ジェンダー平等を達成」などを踏まえ、市民が人生100年時代を豊かに生きていけるよう、暮らしに役立つ社会制度をテーマにした社会教育基礎講座や、子育て支援を行う家庭教育支援事業、人権を尊重することの大切さを伝える社会教育（人権）講座のほか、日本語・多文化共生教室「よみかき」などを実施します。また、実施にあたっては、必要な人に必要な情報が的確に届くよう、効果的な情報発信に努め、誰一人取り残すことのない教育を進めます。

なお、昨年度は新型コロナウイルス感染症対策で、講座や「よみかき」など一定期間の中断を余儀なくされた事業もあったことから、令和3年度は感染拡大のため施設利用が出来ない状況となっても、添削方式など学習機会を提供できる手法を検討しながら取り組みます。

具体的な取り組み：学校施設の環境整備の推進

小中学校のトイレについて、洋式化、個室化、ユニバーサル化、ドライ化を標準的な仕様として整備します。

教室及び体育館の空調整備については、令和3年3月末で「枚方市学習環境整備PFI事業」が事業期間の満了となったことを踏まえ、教室棟の空調設備の更新及び維持管理手法と学校体育館への空調整備について可能性調査を行います。

なお、上記内容については「都市整備部の取り組み」においても記載しています。